

テーマ **自由作品**

佇立 [美瑛町 2016年6月] ● 梅澤 智紀 (札幌市東区)
白樺の木と並んで佇んでいる妻の1シーンです。



★ プロからのアドバイス

奥様を美瑛の雄大な風景の中に佇ませてシャッターを切ると言うことは、風景も奥様も愛している証左です。遠くに残雪の山並み、そして覆い被さるような白樺のダイナミクスを奥様が引き立てています。それとも、逆にこの雄大さが奥様を引き立てているかも知れません。

テーマ **自由作品**

爽やかな夕暮れ [旭川市 北彩都ガーデン 2017年5月] ● 美紗 (兵庫県 西宮市)
川沿いに咲く水仙、そして雲間から差し込む光。夕暮れ時のすこしひんやりとした空気。とても爽やかでした。



★ プロからのアドバイス

構成が実に見事です。目の前には情景が大きく、広がっていたはずですが、その一角をバランス良く切り取った作品です。題名の爽やかな夕暮れをそのまま表しております。目に見えないものは写せませんが、この作品はその場の北国のひんやりとした空気感も写し込んでいます。

テーマ **自由作品**

川西の丘 [士別市 2017年5月] ● 中村 孝夫 (士別市)
畑作業地帯のこの地方では、桜の花が咲く五月には、トラクターが忙しそうに動いています。



★ プロからのアドバイス

土の茶色と空の青空の対比の美しさが、北の大地の豊かさを表しています。大地に比べると小さなトラクターがあたかも働き者のロボットの様に見え、尚一層大地の雄大さを引き立てています。



テーマ **自由作品**

安堵の時間
[釧路市 釧路港 2016年12月]
● 松澤 文夫 (江別市)
長い航海の途中、荒天の日もある中、穏やかな釧路港での停泊は乗組員にとって東の間の安らぎの時間にほかなりません。

★ プロからのアドバイス

夕焼けをバックに、正面から船をとらえ、マスト類もくっきりと写し込んで、迫力ある作品です。なにより右の街路灯が、えも言われぬノスタルジーを感じます。露出のバランスが良いので、それぞれ微妙な陰影が絶妙です。

テーマ **自由作品**

祈り [江別市 2017年5月] ● 正瑞 和弘 (札幌市豊平区)
早朝のドライブ途中、江別で日が昇った。川面が赤く染まったので土手を駆け上がった祈りの世界があった。



★ プロからのアドバイス

作品名が「祈り」となっており、確かに祈りという行為の持つ、厳かで身の引き締まる感じが良く出ている作品です。朝焼けの色合いも美しいですが、シンメトリーに構成されて橋その物の美しさもとらえたと思います。

テーマ **自由作品**

夜明けの飛び立ち [美瑛市 宮島沼 2017年4月] ● 木本 洋 (札幌市西区)
沼に近づくことなく、飛び立ちがわかるように撮ってみました。



★ プロからのアドバイス

宮島沼からちよと離れ、飛び立ちが分かるようなアングルで撮られたとのこと、狙いはぴったりはまったと思います。特に、朝日が強烈なポイントになり、遠くの山並みと飛び立ったマガンの構成は、他とはひと味違う作品に仕上がりました。作者の情熱を感じます。

Pro's Eyes ~ 今野哲郎プロによるワンポイントアドバイス

プロフォトグラファー今野哲郎氏が、お寄せいただいた写真作品を観て、長年培ったノウハウを活かしてワンポイントアドバイスいたします。これからのフォトライフにお役立てください。



テーマ **自由作品**

めざめ [名寄市 2014年9月] ● 米村 藍 (名寄市)
夜明け頃にお散歩していた芝生に付着していた雫が太陽に照らされ光り、美しい光景を見ることができ感動しました。



★ プロからのアドバイス

自然の中には見逃してしまいそうな小さな美しい情景がひそんでいるものです。本作品はそのようなピンポイントの美しさを見事にとらえました。この光景に感動すること自体、素晴らしい感性だと思います。今後も身の回りの「ちよとした美しい光景」を切り取ってください。

テーマ **自由作品**

朝の羊蹄山 [ニセコ町 2017年5月] ● 水上 柳子 (黒松内町)
羊蹄山のビューポイントから日の出すぐの風景を覗き見ました。



★ プロからのアドバイス

斬新なアングルで「衝撃的」作品です。アングルを決める際、左右はよく見ますが、意外と上下、とくにローアングルは時として印象的な作品になる場合があります。この作品はまさにローアングルのたまものです。朝日も見事に欄にかかって素晴らしいポイントになりました。

テーマ **自由作品**

雲海 [津別町 上里 2017年5月] ● 滝口 和宏 (北見市)
いつもは柵の手前で脚立に乗り撮っていますが、一歩下がって見る雲海は雰囲気が変わりました。



★ プロからのアドバイス

見事な雲海です。昨今、各地の自然が繊りなす美しい情景を観光や町おこしのPRに使う場合が多くなりましたが、この作品も十分使えます。いつもより、一歩下がって撮影されたため、雲海を展望する様子が分かり、臨場感が出ています。是非、見たくってしまう作品です。

テーマ **北海道 旬・華・集・灯**

初夏の鱒見の滝
[札幌市 2016年6月]
● 宮下 征治 (札幌市中央区)
爽やかな若葉に水飛沫が美しかった。



★ プロからのアドバイス

見事に水飛沫を写しとりました。岩盤の力強さと水飛沫のはかなさが絶妙の対比になり、そして奥の新緑が清々しさ感を出しております。なによりも、このシャッタースピードがぴったりで水飛沫が線のように流れ落ちている微妙なところが撮れており、シャッタースピードが遅くても早くてもこの感じはでなかったと思います。

テーマ **「北海道を伝えるI」(北海道150年の足跡)**

喧噪の後 [札幌市 二条市場 2017年4月] ● 日野 透 (札幌市中央区)
二条市場は過去から賑々と続く生活感横溢の空間であり、今回は時間を変えて当地を何度も訪問し、そこから出る雰囲気と、そこに生きる「ひと」の撮影に挑戦してきました。

★ プロからのアドバイス

モノクロ写真を見るととても、新鮮に感じます。光と影が写真の生命です。この作品もまさに光と影が彩なす情景です。二人の通行人のおれ具合と組み合わせが、まさにモノクロぴったりで、通りかかるのを待ち続けてシャッターを切ったのでしょうか。これからも二条市場をモノクロで狙って欲しいです。

